

# 質問、あなたにとって松山とは？、仕事とは？

## SCENE-4 製造

答える人

製造部 稲垣 陽一



**現場の意見が通って、  
製品自体が進化していく。  
そんな風土が信頼のNiploを支えている。**

### PROFILE

所属：製造部溶接課  
入社年：2002年  
出身地：長野県飯山市  
出身校：諏訪東京理科大学短期大学 経営情報学科卒

大学では、主にPCを活用した情報技術を学んでいました。就職活動の最初に考えていたのは、情報を活用する仕事に就きたいということだったとか。そんな稲垣さんが目覚めたものづくりの面白さとは。

### 新鮮な発見だった、ものづくりの面白さ。

#### Q-A …なぜ、松山を選んだのですか？

松山は合同会社説明会に参加して初めて知ったんです。長野県内にそんなメーカーがあるのかと、新鮮な発見でした。そこで、たまたま担当の方とじっくり話をすることができて、ものづくりの面白さを知らされたんです。自分が専攻してきた情報系とは違う分野だけれども、チャレンジする価値はありそうだなと感じました。

その後も、相談に乗ってもらったりしているうちに、この会社なら自分に合っているかもと思うようになったんですね。

#### Q-B …実際に仕事に携わった時の印象は？

入社後の研修を経て製造部組立課に配属されたのですが、まったく別世界に入ったなという感じでした。機械いじりの好きな人ならそんなこともないでしょうが、何しろ私は、道具の使い方一つ知らない。先輩に教えていただきながら、一から覚えていくという状態だったんです。手探りで学ぶしかないし、わからないことは教えてもらえない。とにかくがむしゃらに頑張っていた感じがあります。あっと言う間に過ぎていった1年でした。

#### Q-D …いま、あなたの仕事は？

現在は溶接課です。農業機械の一部を、手作業やロボットを使って溶接する仕事です。

もちろんそれまで溶接なんてやったことがありません。説明された

通りにやってみるんだけど、うまくいかない。ただ接合すればいいというものではないですから。機械の重要な構造や機構なので、求められる性能と精度を満たさなければいけない。形はマネることができても、スキルひとつひとつのレベルの違いがすぐに現われる。判断の仕方ひとつで別次元になってしまう世界なんです。信頼のNiploを支えているのは、そこでの品質なので。実際、今でも難しさは感じています。

作業工程上の課題は、いつも自分なりに工夫や改善を考えて、取り入れてもらうようにしています。

#### Q-F …松山の自慢できる点とは？

例えば溶接のしかたに関する改善などは、自分の部署だけでなく、開発や設計に対しても提案していくんですが、そういうことが通る会社なんです。現場の意見が通って、製品自体が進化していく会社。そうしたことが、仕事としての面白さにつながっていますし、刺激になっています。

#### Q-G …休日・オフは何をしていますか？

ふだんは社員寮に住んでいますので、オフもほとんどは寮の仲間たちと一緒に。飲み会なども結構やっていますね。

それから、会社のフットサル部に所属していますので、その活動もあって、週1回は大会だのリーグ戦だのとやっています。また学生時代から続けている野球部でも頑張っています。

### Niplo豆知識

こんな仕事を  
していただきます。

#### 【設計開発】

人に役立つ、社会に役立つ製品を初めから終わりまで、あなたの手で創り出していきます。



#### 【営業販売】

全国の営業所からお客様へNiplo製品を売り込む、あなたの実力を最前線で力いっぱい発揮してください。



#### 【生産技術】

最高の品質で、しかも早くお客様に製品をお届けするために、毎日が改善の連続です。



#### 【製造】

お客様にお届けする1台1台の製品。そのすべてに品質を創り込み、信用をかたちにしていく大切な仕事です。

